

9 : 15~10 : 15

「火山噴火予知は何が難しいか」

地震火山研究センター 教授 山岡耕春

地震に対しては、建物を強くすればかなりの程度被害を防ぐことができる。しかし火山噴火はちょっとやそっとの対策で防ぐ事は難しい。多くの場合、火山の異常を察知して、事前に避難したり火山に近づかないようにすることによって、火山災害を防いでいる。そのため火山噴火予知は火山防災上、最も重要な役割を持っている。

火山噴火予知は地震予知よりも容易と言われるが、それでも難しいところが多い。火山噴火予知では、(1) いつ、(2) どこから、(3) どの様な、(4) どのくらいの規模の噴火が発生し、(5) いつまで続くか、を予測するものである。これら5つの予測のうち、「そのうちに噴火が起きるかも知れない」というような「いつ」に関する予測は比較的容易な部類である。しかし、どのくらいの規模の噴火になるかの予測は、噴火が始まってみないと分からないことが多い。噴火の様式も火山によって、また噴火によって異なることが多い。さらに噴火開始後の火山活動はゆっくりと収まっていくことが多く、いつ終わるかという予測も困難である。

講演では、火山の基礎知識から説き起こし、5つの噴火予知について解説をしながら、多様な火山噴火について解説をする。さらに防災対策として気象庁が出している警報や情報について解説し、それらをどの様に捉えるべきかを述べる。